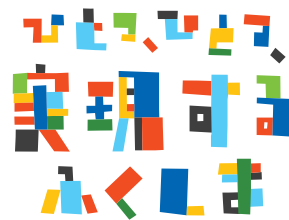




県議会ふくしま

第95号

〔企画・編集〕
福島県議会
広報委員会



〈広告〉

9月定例会の概要(9/11~10/4開催)

定例会での主な質疑

9月定例会では、ALPS処理水の海洋放出による風評対策、台風13号に伴う大雨災害対応など、緊急に措置すべき経費87億2,900万円が計上された一般会計補正予算案2件を可決しました。

そのほか、知事提出議案として、令和4年度決算関係議案6件、特別会計補正予算4件、条例関係議案8件、その他25件、議員提出議案としては、「ALPS処理水の海洋放出開始に伴う安全性の確保と風評対策の徹底を求める意見書」など8件、合わせて53件の議案を可決・認定しました。

ALPS処理水の海洋放出について

【質疑】ALPS処理水の海洋放出について、安全の確保にどのような取り組みをいくのか、知事の考えを尋ねた。

【答弁】処理水の海洋放出は安全の確保が大前提であり、経済産業大臣と東京電力に対し、安全管理の徹底を強く求めるとともに、内閣総理大臣とも面談し、数十年にわたる安全確保を直接訴えた。

また、福島第一原発を視察し、放射線モニタ等の整備状況について確認した。処理水の放出は長期にわたる取組であり、県として、引き続き、国と東京電力を厳しく監視し、安全の確保にしっかりと取り組んでいく。

度重なる災害と向き合うための取組について

【質疑】台風13号に伴う大雨災害で被災した世帯に対し、生活再建に向けた県独自の支援を行うべきと思うが、知事の考えを尋ねた。

【答弁】9月8日に発生した線状降水帯による猛烈な大雨により、いわき市と南相馬市で千棟を超える住家の浸水被害が発生したが、発災直後から現場を視察する中で、被災者に寄り添いながら、生活再建を加速化させていかなければならないとの思いを強くした。

県として、被災者生活再建支援法と同等の支援を行う現行制度に加え、床上浸水や半壊の被害を受けた世帯に対し、新たに県独自の特別給付金制度の創設を検討していく。

本県漁業の継続と後継者育成について

【質疑】本県の漁業の継続と後継者育成に向けて支援すべきと思うが、知事の考えを尋ねた。

【答弁】ALPS処理水の放出に伴い、新たな風評が懸念される中、漁業者の不安を払拭し、操業の継続、拡大に向けた取組を支えていくことが重要であり、水揚げされた魚介類の販路拡大に向け、県産水産物の魅力を全国に発信していく。

県産品の輸出拡大について

【質疑】知事は、県産品の輸出拡大にどのように取り組んでいくのか尋ねた。

【答弁】ALPS処理水の放出に伴い、風評などが懸念される中、県産品の更なる輸出拡大を図るため、資源管理を進めながら高い収益を確保するふくしま型漁業を推進するとともに、次世代の漁業を担う人材の育成に向け、先端技術の研修を実施するなど、生業として継続できる漁業の実現に向けてしっかりと取り組んでいく。

FIREI周辺地域の教育環境整備について

【質疑】県教育委員会は、FIREIの設立を踏まえ、周辺地域の教育環境の整備にどのように取り組んでいくのか尋ねた。

【答弁】FIREI周辺地域の教育環境の整備については、国内外からの研究者等の受け入れを好機と捉え、多様な文化や価値観を尊重する考え方を醸成していくことが重要である。今後は、周辺地域での外国語教育の充実や多様性に配慮した教育の推進など、研究者等の子どもにも配慮した教育環境の整備に取り組んでいく。

警察行政について

【質疑】SNSで実行犯を募集する手口の犯罪に青少年が加担しないための取組については、中高生や大学生を対象とした情報モラル教室を開催し、注意喚起することにも、ポリスメールふくしま等の広報媒体を活用した情報発信を行っている。また、犯罪実行者募集情報に係る違法情報等の発見のためのサイバーパトロールなどを実施している。

引き続き、青少年等に対する情報発信を行い、犯罪行為への安易な加担の危険性について訴えていく。

【答弁】SNSで実行犯を募集する手口の犯罪に青少年が加担しないための取組については、中高生や大学生を対象とした情報モラル教室を開催し、注意喚起することにも、ポリスメールふくしま等の広報媒体を活用した情報発信を行っている。また、犯罪実行者募集情報に係る違法情報等の発見のためのサイバーパトロールなどを実施している。

可決した国への意見書 (令和5年10月4日、国へ提出)

- ①ALPS処理水の海洋放出開始に伴う安全性の確保と風評対策の徹底を求める意見書
- ②ALPS処理水の海洋放出に伴う科学的根拠に基づかない一方的な主張や虚偽の情報に毅然とした態度で臨むことを求める意見書
- ③安全第一のALPS処理水の海洋放出と更なる理解促進、新たな風評を生じさせないための対策を求める意見書

- ④マイナンバー制度に対する信頼の確保と国民理解の促進を求める意見書
- ⑤脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める意見書
- ⑥ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書
- ⑦下水サーベイランス事業の実施を求める意見書
- ⑧新たに策定された国土強靱化基本計画の着実な取組を求める意見書

意見書の全文はこちらから



ALPS処理水の海洋放出による風評や台風13号に伴う大雨災害へ対応 県一般会計補正予算87億2,900万円を可決

① ALPS処理水の海洋放出による風評への対策 4億7,024万円

- 【主な内訳】
- チャレンジふくしま戦略的情報発信事業 1億3,999万円
 - ふくしまの漁業の魅力体感・発信事業 1億6,747万円
 - 福島県産水産物競争力強化支援事業 7,491万円

② 河川の改良復旧による防災力の強化 37億2,286万円

③ 台風13号に伴う大雨災害対応 33億1,400万円

- 【主な内訳】
- 災害救助法による救助 11億 487万円
 - 公共土木施設の災害復旧 18億8,300万円

総額87億2,900万円

補正予算の主な内容

は可決した。

意見書の全文はこちらから



総括審査会を開催

10月2日、本会議や常任委員会、総括審査会(先崎温容委員長)を開催した。各会派から7名の委員が、総合計画の進捗管理や福島空港の活用などの施策について執行部の取組をたじた。



決算審査特別委員会



総括審査会



県道須賀川矢吹線を調査する土木委員会

伊達市農林業振興公社を調査する農林水産委員会

常任委員会が現地調査を実施

9月22日、農林水産委員会(佐々木彰委員長)は、伊達市の伊達市農林業振興公社で、有害鳥獣被害防止対策及び有効利用について調査し、土木委員会(宮川政夫委員長)は、須賀川市の県道須賀川矢吹線の整備状況を調査した。

公立大学法人中期目標調査検討委員会が調査を終結

10月2日、公立大学法人中期目標調査検討委員会(太田光秋委員長)は、県立医科大学及び会津大学の第四期中期目標の策定に当たり、目標に反映させるべき事項について調査検討を行った成果を調査報告書に取りまとめ、議長報告を行うとともに、10月4日に、県議会の総意として正副議長及び正副委員長が知事へ申入れを行った。

議員勉強会を開催



講師 青砥和希氏



永年勤続功労者(亀岡義尚議員)

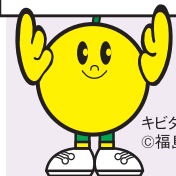
永年勤続功労者(満山喜一議員)

2議員に永年勤続表彰の伝達

10月4日の本会議で、渡辺義信議長から満山喜一議員(在職20年)、亀岡義尚議員(在職20年)に対し、全国都道府県議会議長会による永年勤続功労者表彰の伝達を行った。※渡辺義信議長自身も在職20年による表彰を受けています。

河野広中 没後100年 企画展の開催

今年、県議会(県会)開設に尽力した河野広中の没後100年に当たることから、県議会草創期の同氏の活動などについて紹介する企画展を、12月定例会中に県議会内で開催する予定です。なお、詳細は12月上旬に、福島県議会のHPにて御案内いたします。



- ◆第20回福島県議会議員一般選挙の投票日は11月12日(日)です。
- ◆令和5年12月定例会は、12月11日(月)開会の予定です。
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」、「福島県議会X(旧ツイッター)」もご覧ください。

◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL:(024)521-7608
FAX:(024)521-7965
メール:gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
◆詳しい情報は

→ 福島県議会 検索

またはこちらから



お知らせ